



大学入学共通テストの出題内容の変化と TOEFL Junior[®]の受験価値

明星大学 教育学部教育学科 准教授

佐古 孝義

- 1.はじめに～大学入学共通テストの出題内容の変化と特徴……P1
- 2.リーディングセクションの特徴とTOEFL Junior[®]の親和性…P2
- 3.リスニングセクションの特徴とTOEFL Junior[®]の親和性……P5
- 4.文法・語彙セクションの特徴とTOEFL Junior[®]の親和性……P7
- 5.TOEFL Junior[®]の受験価値 ……………P9



Danke Sehr

1. はじめに～大学入学共通テストの出題内容の変化と特徴

この小冊子を読んでいる皆さんは、2023年の大学入学共通テスト(以下、「共通テスト」と表記)の問題にもう取り組まれたでしょうか。今回の特徴については、すでにいろいろな予備校や業者から詳細なレポートが出されており、そちらに解説は譲りますが、私がいろいろな生徒から聞き取った現場の声を総合すると、リーディングに関しては、一言で言って「面倒な問題が多かった」ということになるでしょう。出題形式は昨年と同じ大問6題からなる構成ですが、設問数は2問増加しています。ただ、問題数が増えた(総語数自体はほとんど変わっていません)ことよりは、ウェブサイトやクラブのニュースレター、ブログ記事といったライトなものから科学的説明文にわたる重厚なものまで多種多様なジャンルとスタイル、図表を含めた複数の情報源から概要・要点を把握する様々な出題形式、といったものが受験生を戸惑わせるものになっているようです。この共通テストは、かつてのセンター試験以上に、そして共通テスト同士で比較しても、回を重ねるごとにますます、**問題文を「隅々まで」読まないといけないような作り**

になってきていると私は見ています(リーディング力を測るテストなんだから、当たり前といえば当たり前なんですけど)。一方、リスニングに関して言えば、全体の問題構成は昨年とほぼ同じで、昨年平均正答率が低かった第5問と第6問で、講義や会話の内容がやや身近なもので理解しやすくなったこともあり、全体として若干易化した、との声が多かったようです。とはいえ、問題部分のスキプトの総語数は昨年とほぼ同じで約1600語もあり、普段英語を聞き慣れていない生徒にとっては、短時間に大量の英文を聞き、理解することに苦手意識を感じる人も多いでしょうし、また、定着してきたとは言え、第3問から第6問が1回聞きの出題であることにもまだまだ不安があるかもしれません。

限られた時間内に、これほどの大量の英文を読んだり聞いたりし、正確に情報を探し当て、設問に答えてゆく力をどうやってつけてゆけばよいのか。この小論では、その対策の鍵をTOEFL Junior®の利用という観点から説明してみたいと思います。

2. リーディングセクションの特徴とTOEFL Junior®の親和性

今回の共通テストのリーディング問題から、比較的正答率の低かったとされる問題を例に

取り、共通テストの出題意図を考えるとところから始めてみます。

問 4 One of the participants' opinions about the Commuting Challenge is that

14 .

- ① it could have included students who walk to school
- ② the train was a good place to read books
- ③ there were plenty of audio materials for studying
- ④ watching videos for fun helped time pass quickly

Feedback from participants

HS: Thanks to this project, I got the highest score ever in an English vocabulary test. It was easy to set small goals to complete on my way.

KF: My friend was sad because she couldn't participate. She lives nearby and walks to school. There should have been other ways to take part.

SS: My train is always crowded and I have to stand, so there is no space to open a book or a tablet. I only used audio materials, but there were not nearly enough.

JH: I kept a study log, which made me realise how I used my time. For some reason most of my first-year classmates didn't seem to know about this challenge.

MN: I spent most of the time on the bus watching videos, and it helped me to understand classes better. I felt the time went very fast.

第2問Bの問4(解答番号14)は、共通テストで繰り返し出題されているopinionを問う問題です。ここでは解答の根拠となる該当箇所であるFeedback from participantsのKFによるThere should have been other ways to take part.という発言(これ自体も、あとで説明するTOEFL Junior®の文法・語彙セクションでたびたび出題される〈助動詞+have p.p.

(過去分詞)〉の理解が必須です)が、選択肢①のように「言い換え」られていることを見抜く力が求められています。もちろん「消去法」を使っても解答を導き出すことは可能です。

しかし、そうした「言い換え」への注意や「消去法」を使って解く、といったテクニックを身につけようとする前に、そもそもなぜこうした問題が出題されているかよく考えてみましょう。

共通テストの出題者からのメッセージは極めてシンプルです。「文章を丁寧に注意深く読んでください」ということ。それはつまりどういうことか?「書き手(話し手)の目的や意図を文脈から理解・推測する」ことこそ、注意深く丁寧に読むことに他ならないわけです。

「共通テストは単語数が多いから速読が大事だ!」と言われていますが、その速読は決して「大意だけ掴んで飛ばし読み」をすることではないのです。そうした解像度の低い読みでは、昨今の共通テストではまず巧妙なひっかけの選択肢に絡め取られてしまうのがオチだと思います。

また、選択肢の「言い換え」に慣れなければいけない、ということばかりが強調された指導を受けているかもしれません(皆さんの通っている学校や塾ではどうでしょうか)が、もっとそうしたテクニク的な指導の手前で大事なことがあると私は考えています。それはつまり、

与えられた文章の鍵となるセンテンスや、文章全体(文脈)を踏まえたテーマをしっかりと理解しながら、大局的に読んでいくことです。そうした骨太の読解力が共通テストでは求められているということです。

このような力の養成のために、実はTOEFL Junior®は打ってつけの設問だといえます。なぜか? TOEFL Junior®には書き手の目的をつかむ問題や推測する問題が明確に設定されているからです。公式問題集によれば、書き手の目的をつかむ問題では「書き手が文章の中で自分の目的を明確に述べる場合もありますが、それ以外の場合には目的を判断するために、文章内のキーワードやキーフレーズ、さらにより大きなテーマに注目する必要がある、とされています(注1)。まさに私が先ほど述べた「大きな文脈理解」が必要な出題だと言えるでしょう。

Example 4A

TO: Softball Team Members

FROM: Ms. Gordon

SUBJECT: Things to do

SENT: Wednesday, 6:13 p.m.

Dear softball team members,

You'll need to do a few things before we begin practicing for this year's season. First, you must bring me a letter from your doctor confirming that you are in good health. Second, you'll need to make sure that you maintain good grades in all your classes. Sometimes you will miss classes because of the games. For those times, you must notify your teachers at least a week in advance of the absence. You should complete in advance any work you'll miss and submit it before the day of the game. Third, you need to be at every game. This comes with the territory. If you want to play on a sports team, you will be required to make all the games. Finally, your parents will need to complete and sign a permission slip, which you will return to me.

I look forward to a great season together!

Coach Gordon

What is the purpose of the e-mail?

(公式問題集、p.61)

また推測する問題は「直接は述べられていないが文章の中で強く暗示されている考えや事実を理解する能力」を測定するものと意図

されています(注2)。これもまさに、「筆者の意図を汲んで、問題文には直接ない表現(言い換え)を探り当てる練習」に好適です。

Example 6A

■新聞雑誌の記事より抜粋：

Each food we eat tastes different, and there are untold numbers of different tastes. Still, all flavors are based on just four basic tastes: sweet, bitter, salty, and sour. Some food experts argue there is a fifth basic taste called *umami* (a Japanese word that can be translated roughly as “tasty” or “savory”), but this theory remains controversial. Regardless of whether there are four or five basic tastes, the number is small.

According to the author, what question is still debated?

(公式問題集、p.65)

上に掲げたようなタイプ別問題に数多く触れ、読み方の精度をあげておくことは、長い目で見たときに、小手先のテクニックよりもはるかに共通テスト対策になると私は確信します。共通テストは、計算問題をはじめ、目先の変わった問題が毎年のように出題され、その度に受験生が右往左往してしまう姿を目にするわけです(正直言って、毎年変化するこうした出題形式を事前に予想して対策することは不

可能に近いと言っていいでしょう)。しかし、そうした表面上の変化に惑わされず、どんな出題形式であっても安定して得点できるようになるためには、そもそもの読解の解像度を高めることが、最短かつ最適の学習法です。そうした読みができていないかどうかの確認として、TOEFL Junior®は非常に良い物差しになると思います。

3. リスニングセクションの特徴とTOEFL Junior®の親和性

リスニングについては、ある意味でリーディングよりもTOEFL Junior®との親和性がわかりやすいと言えるかもしれません。まずもって、出題形式そのものが似ているということが挙

げられるでしょう。例えば今回の共通テストとTOEFL Junior®の問題を単純に並べてみても、その類似性は一目瞭然です。

問12 地下鉄の駅で、男性が目的地への行き方を質問しています。

Which subway line will the man use first? 12

- ① The Blue Line
- ② The Green Line
- ③ The Red Line
- ④ The Yellow Line

Question No. 12
M : Excuse me. I'd like to go to Central Station. What's the best way to get there?
W : After you take the Green Line, just transfer to the Blue Line or the Yellow Line at Riverside Station.
M : Can I also take the Red Line first?
W : Usually that's faster, but it's closed for maintenance.

■ TOEFL Junior®の問題

Example 5A

■ 流れてくるリスニング音声 :

(Narrator): Listen to a science teacher speaking to her students.

(Woman): Remember, the first step is to put on your safety glasses. Safety is the most important rule when doing experiments. We're going to be observing what happens as we heat and cool different substances, and it's possible that some of the containers might break and cause a mess. If there are no questions, let's start with the first one.

■ テスト冊子の設問 :

What will the students probably do next?

- (A) Clean up a mess in the laboratory
- (B) Ask the teacher some questions
- (C) Present reports about a science experiment
- (D) Put on safety glasses

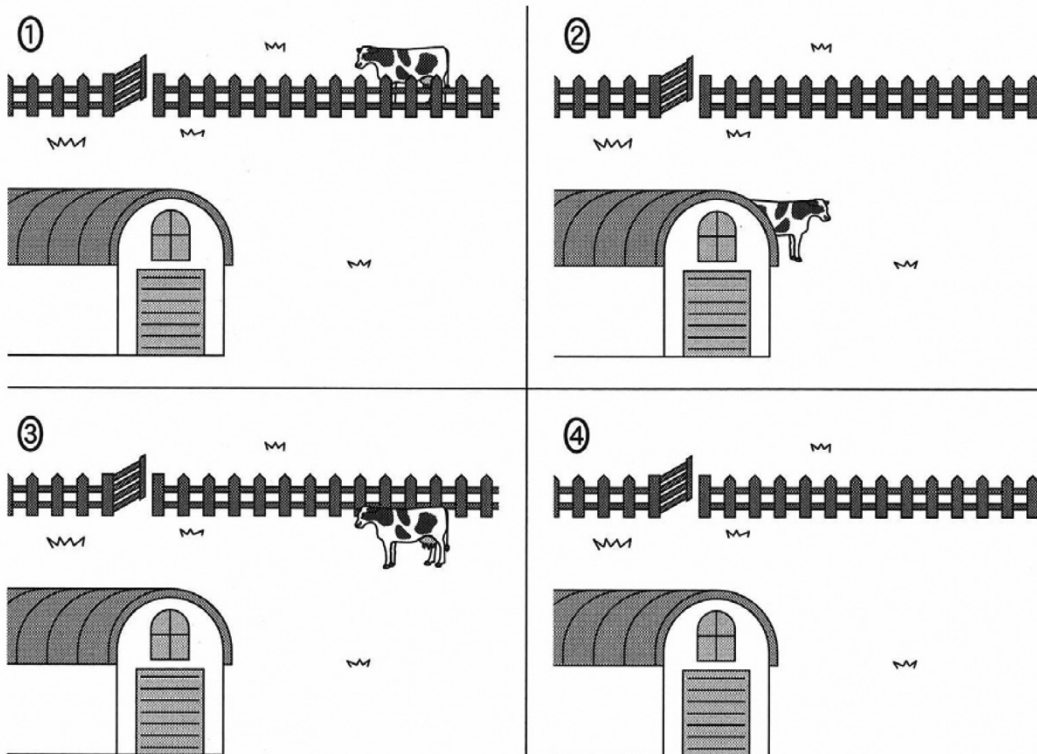
(公式問題集、p.27)

TOEFL Junior®のリスニングセクションでは、リーディングと同様に文脈とキーワードに注意を向けること、特に話の最後に出てくる情報が解答に必要なことに注意することなどが対策として公式問題集では述べられています(注3)。まさにリスニングの勉強の王道とも言えるやり方であり、そっくりそのまま共通テストの対策として有効です。TOEFL

Junior®の読み上げのスピードはネイティブの話す自然な速度となっており、共通テストの音声は「速い」と感じる生徒にとっては格好の練習素材となるでしょう。

また、**あいまい母音** (behind/bəháind/のə)の聞き取りができていないかが正答を選ぶポイントになる問題(第1問B問6)が出題されたことも指摘しておきたいと思います。

問 6 6



Question No. 6

W: I can't see any cows. Oh, I see one behind the fence.

カタカナ発音からの脱却ができていないかを確かめるような問題(問22~25ではawardという語が聞き取れているかがポイント。カタカナ的に「アワード」ではない!)も、共通テストでは狙われ所です。これらについても、自分のリスニングの弱点をしっかりとTOEFL Junior®

で診断した上で、克服のために意識的に集中練習することが大切です。診断と集中トレーニングの両方の目的のためにTOEFL Junior®を利用することで、受験価値は倍加されます。もちろん、**1回聞きの方策としても有効**なことは言うまでもありません。

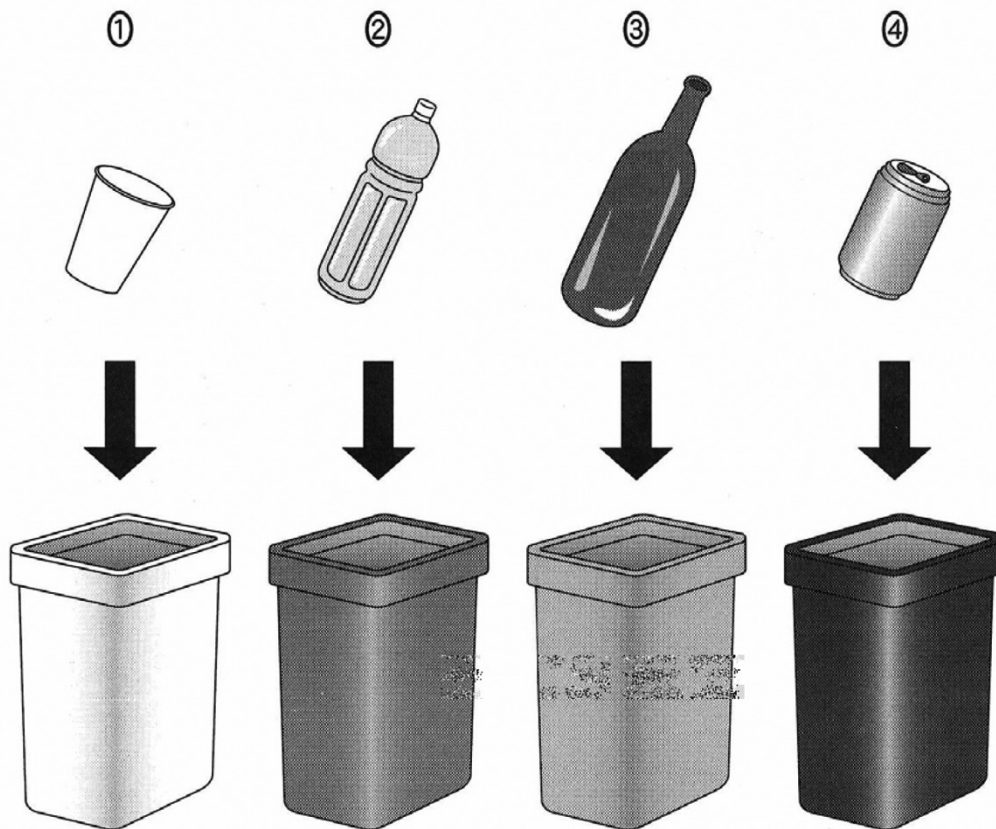
4. 文法・語彙セクションの特徴とTOEFL Junior®の親和性

共通テストのリスニングについては、私はむしろTOEFL Junior®の文法・語彙セクションとの関係性を指摘しておきたいと思います。どういふことか? センター試験で出題されていた文法・語法問題が共通テスト(リーディング)では姿を消したということがよく指摘されるわ

けですが、実は消滅したのではなく、リスニングで文法問題が出題されている(文法・語法的知識が聞き取りの成否を分ける)ということをご存知でしょうか。

今回の共通テストリスニングの第1問B問9をご覧ください。

問 9 ホームパーティーの後で、ゴミの分別をしています。 9



Question No. 9

M: Plastic bottles go in here, and paper cups here.

W: How about this, then? Should I put this in here?

M: No, that one is for glass. Put it over here.

W: OK.

Question:

Which item is the woman holding?

ここでは、in here / over hereの〈対比〉が解答のポイントになっていますが、こうした

構文上の対比関係が問われるのは、TOEFL Junior®では文法・語彙セクションです。

Once received at the studio in Japan, the signals from the different continents

25. (A) shown not on television were
(B) were not shown on television
(C) on television shown were not
(D) not shown on television were

immediately. Instead, the first signals received were

(公式問題集、p.106)

また、先にあげた〈助動詞+have p.p. (過去分詞)〉などの文法理解が聞き取りの成否に影響する問題もよく見られます。

問14 高校生同士が、授業後に話をしています。

What did the boy do? 14

- ① He checked his dictionary in class.
- ② He left his backpack at his home.
- ③ He took his backpack to the office.
- ④ He used his dictionary on the bus.

Question No. 14

M : I can't find my dictionary!

W : When did you use it last? In class?

M : No, but I took it out of my backpack this morning in the bus to check my homework.

W : You must have left it there. The driver will take it to the office.

M : Oh, I'll call the office, then.

こういった知識がしっかりと身につけているか、弱点はどこにあるかの診断としてTOEFL Junior®の文法・語彙セクションが役に立ちます。

また、「語彙」という面に着目すると、共通テストの出題範囲であるCEFR B2程度までの語彙が確実に自分のものとなっているかの確認材料としてTOEFL Junior®の文法・語彙セ

クションが使えます。例えば、今回の共通テストリーディングでは第6問Bで**CEFR B2レベル(あるいはそれ以上)の語彙**(例えばsoak, nourish, withstandといった語)が解答に絡んで登場していましたが、このレベルの語彙がしっかりと定着しているかどうかは、下のようなTOEFL Junior®の問題で自己確認できるでしょう。

have noticed

41. (A) as water flows
(B) since water flows
(C) that water flows
(D) and water flows

downhill in a straight line over a great distance, as

long as no

42. (A) journeys
(B) attempts
(C) obstacles
(D) directions

block its passage.

(公式問題集、p.111)

5. TOEFL Junior®の受験価値

TOEFL Junior®は「読む」「聞く」の2技能において「どれだけ英語が使えるか」を測るテスト(注4)であり、学校の定期テストや模擬試験のように一定の範囲の学習内容の理解度を確認するものではなく、専門知識や背景知識を問わず英語の熟達度そのものを測定するものとして設計されています。題材は中高生の学生生活をベースにしたオーセンティックなもので、スコアはCEFRおよび、リーディングスコアは英語読書力を示すLexile®指数とも連動した世界基準であることも特徴です。こうした点がTOEFL Junior®の受験価値であることはすでにみなさんもよく理解していただいているはずですが、私はそこにもう一つ価値を付け加えたいと思います。それは**TOEFL**

Junior®の問題を普段の英語学習の教材として活用することです。これまで説明してきたとおり、TOEFL Junior®の問題は、共通テストとの親和性が非常に高いため、公式問題集などでさまざまな問題をこなすことで、**オーセンティックな英語に慣れ親しみながら共通テスト対策も行うことができる**という「一粒で二度美味しい」効果を期待できるでしょう。特にリスニングセクションは、まとまった量の英文を聞いて問題を解く訓練を行える教材として、非常に質の高いものであると言えます。ぜひ、英語教材という視点からもTOEFL Junior®の利用価値というものを見直してみることをお勧めします。

(注1) TOEFL Junior® STANDARDテスト公式問題集、くもん出版、p.60 (2016)

(注2) 公式問題集p.64

(注3) 公式問題集p.27

(注4) TOEFL Junior®公式サイトより (https://gc-t.jp/about_test/junior/)

Danke Sehr